

本日の新聞で「中体連の九州大会中止」の記事が掲載されました。

また、県立の学校は21日に学校再開しても、「部活動は禁止」の文字もありました。

多くの生徒のみなさんも、驚きと不安を抱えていることだと思います。私たち職員も、新聞やテレビの発表で知った職員がほとんどで大きなショックを受けました。

新型コロナウイルスという、目に見えない敵がこれほど憎く許せないと思ったことはありません。同時に、ここで落ち込んでしまつては、新型コロナに負けたことになります。絶対に新型コロナには負けない。この状況乗り越えて見せると改めて思いました。

今、地区や県の先生方は、みなさんの夢の扉を閉ざすことがないように、どうすれば地区や県大会が実施できるか必死に考え行動しています。気持ちはみなさんと一緒です。

「ここであきらめたら、試合終了だよ」。有名な言葉です。

「あきらめたら＝試合終了」です。「負けたら＝試合終了」ではありません。

ここで、絶望するのではなく、今できることに最善を尽くしましょう。

先生方からのメッセージです。

制限されると、何気ない日常に喜びがあったことに気づかされます。

一時の社会情勢に惑わされずに、目の前のやるべき事、制限の中でも、できる事を見つけて、取り組みましょう。

再開後に誇れる今を過ごせるといいね。



全国、九州が中止となり、県大会をどうするか話し合いをしているところだが、今できる事をしておこう。チャンスは誰にでも来る。いつ来るかわからないチャンスをつかめるかどうかは日々の「準備」が大切だ。「もういいや」と思った時点で失うものしか出てこない。工夫できる人は勝てる。それぞれの状況でできる「準備」をしておこう。

平良 将一

『全てが報われる時がある。なぜならその瞬間のためにそなえているからだ。』

NBA 選手 : Stephn Curry (ステフィン・カリー)

「今年こそ勝負の年！」と気持ちを高めていた部活生にとって、心にもやもやの残る1年のスタートになってしまいました。部活は青春の一部。私も中学校3年間は「部活命！」だったため、部活に一生懸命のみなさん。特に3年生の悔しさを思うと胸が痛いです。

ただ、こんな事態になった今、「何のために取り組んできたのか」と一度立ち止まり振り返る機会かもしれません。将来その道のプロになりたいのか、大会での勝利を目指していたのか、大好きでやっていたのか、仲間たちとの絆か、何か別の大切なもののためなのか...、その理由を考えれば、この状況でもできることはいろいろあるはずです。

このつらい日々を、「あれがきっかけだった」と言える日々できるように、自分と向き合ってください。

松田 千草

部活動生のみなさんこんにちは

みなさんの部活動に取り組む姿、大会での姿を見れることを楽しみにしていました。しかし、中体連の九州大会が中止の決定を聞き、とても残念に思います。また、みなさんがそれぞれの部活動での取り組みを発揮する機会が減り気落ちしていないか心配です。

まずは、今できる事に目を向けて、これからの学校生活を過ごしていきましょう。

松堂 仁美

本当に悔しいです。

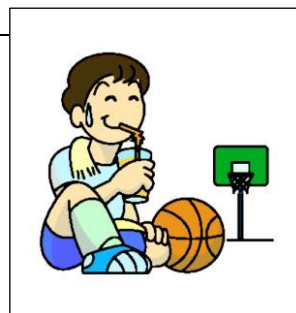
目標にしていた大会だけに悔しい！

でも、みんなの命が大切だから。

今は1日でも早く元の生活に戻ることを願って前を向いていこう。

みんなの努力は絶対に無駄にはならないから。

あと少し、もう少し、頑張ろうね！



女子卓球部顧問 仲嶺 奈月

グラウンドや体育館で大きく体を動かすことができず、もやもやしている気持ちだと思います。どこに、ぶつけていいかわからない、やるせない気持ちがあると思いますが、明るい未来が待っていると信じて共に前を向いていきましょう。

“Without haste. but without rest” (あせらず、だが、休まず)

1学年 福島 拓朗

制服姿も素敵ですが、ユニホーム姿も素敵だといつも思っています。

それだけに、本当に、今年は大変な年ですが、絶対に報われます。

今こそ力をつけて、必ず訪れる日を待ちましょう！祈っています。

少人数担任 伊波 喜代子

4月から名護中に来ました。登校再開に向けて準備をする中で「どんな生徒がいるのかな？」「早く会って、話してみたい」と日々思っています。

しかし、みなさんも知っていると思いますが、コロナウイルスの感染者は全世界で350万人を越えました。死亡者も25万人に達しそうです。

今はまだ「Stay home」です。未来の安心で安全な生活の為にもう少しお互いに頑張りましょう。辛いですが、会えるのを楽しみに待っています。

男子卓球部顧問（生徒会担当） 崎原 武